

しつかり交渉協議を 東急ストア問題

佐藤 清 議員

問 9月の定例議会で、東急ストアについて、市役所の全部移転の話などいろいろな話があった。そのとき、「せいぜい1.5フロア」という市長答弁があった。関係権利者はこの数字を承知していないし、話も聞いていない。これは市長の政策として考えているフロアの階数なのか。

都市整備部長 権利者からも要望が上がっていた。東急のフロアをどの程度利用できるか、市役所で検討していたのは事実。

市長 「1.5」は、私が図面等を見てややフライングして、市のサービスをそれ以上で駅前ビルへ移すことは現実には無理だろうという文脈で申し上げた。



取手駅西口

問 こういう話は意思疎通を図って信頼関係を結ばないと、大きな禍根を残す。市長の発言はトップだから慎重に答弁をされて、東急ストアを含めた関係権利者と、しつかりした交渉、協議をお願いする。

どうなってる？ リフォーム資金助成

野口 利枝子 議員

問 成立した産業活動支援制度の申請状況について。

まちづくり振興部長 3件の申請があり、1件は指定、2件は指定作業中である。

問 制度は5年間であるが、今後の見通しは。

答 市内企業を中心に制度のPR、中小企業の実態、要望等を聞いていますが、数社、関心を示しているところがある。

問 住宅リフォーム資金助成条例について、条例制定を求める請願が採択されたが準備をしているのか。

市長 総合的にいろいろな要素を慎重に検討していきたいと考えている。

問 考えがあるのか明確に。まちづくり振興部長 制度の問題点が出ているので、もう少し研究が必要という印象を持っている。

問 実施自治体では、経済効果があるとの報告があるので、やってみればいい。

答 何世代かが取手に住むような建設に結びつく支援策を研究している。

市長は何をした？ 取手駅周辺問題

結城 繁 議員

取手駅北土地利用構想再立案

- まちづくりの目標
 - 市民の健康を増進し、活力を創出する中心市街地- ウェルネス・タウン取手の創造
- まちづくりの基本方針(案)
 - ・まち全体の健康・医療・福祉施策と連携し、そのハブ機能となる中心市街地の形成
 - ・運動(リハビリ)のできるまちづくり
 - ・芸術と調和するまちづくり
 - ・ウェルネス・タウンを支える商業・業務機能が集積するまちづくり
 - ・ユニバーサルデザインによる、多世代の人々が交流するまちづくり
 - ・環境を優先させるまちづくり

問 ウェルネス・タウン構想について、芸術の杜プロジェクトとのすり合わせは。

中心市街地整備課長 心の健康も含め、ほかの要素を含めた中で検討している。

問 音楽も同様の効果が考えられるが、請願が通っている中ホールも視野に入れているのか。

答 施設としては検討しなければならぬと思う。

問 C街区の登記簿を見ると、内科と眼科関係の方が土地を購入していた。仮にC街区の公有地が民間に買われたとき、市の構想は実現可能なのか。

答 C街区は、県と市が持っている。売る場合は、基本構想に基づいた土地利用をする方をお願いする。

問 市長は何をやりたいのか見えない声を聞く。東西自由通路の凍結など理解に苦しむことが多いが、市長の考える全体ビジョンは。

市長 豊かで便利な生活環境、行政サービスや福祉水準の高さ、市民力の強さの三つを軸に考えている。

バリアフリーに！ 取手駅周辺

入江 洋一 議員

取手駅周辺問題を問う。

1 高低差の激しい取手駅西口、治助坂と西口のデッキは同じ高さにある。四ツ谷橋までデッキを接続してバリアフリーにすべき。

2 駅利用客の減少や市の努力によって、放置自転車は減少している。完全になくすためにも、自転車駐車場の整備、管理体制の確立を求める。

3 西口にある自転車駐車場の整備台数、運営経費は。



取手駅西口から治助坂を臨む

4 駅前にレンタサイクルの設置を提案する。

都市整備部長 1 十分検討していきたい。

4 必要と思っている。他の部と協議しながら考えていきたい。

総務部長 2 放置自転車対策としては、シルバー人材センターの方々に、監視委員として注意していただいている。

3 取手駅周辺全体で駐輪場は7カ所、約3100台分整備している。うち西口には3カ所、約1000台分年間約2000万円の経費。

安全・安心を確保 取手駅前

吉田 宏 議員

去る10月24日午前2時半ごろ、取手駅前で、飲食店から出てきた男性従業員が、男にいきなり刃物で切

りつけられる事件が発生した。東口にある駅前交番に助けを求めに行ったが、24時間体制でないため、警察官はいなかった。

もしも、日中にこの事件が起きれば、多くの市民や高校生が巻き込まれていた。

荒川沖駅では、事件後に対策を打たれたが、事件が起きてからでは遅いと考える。駅前交番移転の話もあるようだが、県に駅前交番を24時間体制にすることや、存続を求めるべき。

また、県でやらないのであれば、市が先行してその土地や施設を確保したり、防犯カメラを設置するなどして安全対策をすべき。

市長 駅前の防犯対策については、市として何ができるかを積極的に考えていきたい。

また、防犯カメラの設置や自主防犯団体等とも連携、協力しながら重要課題として取り組んでいきたい。



12月17日、取手駅西口で起きた傷害事件現場